



# 小鯖小学校だより 1月号

令和2年 1月 8日  
山口市立小鯖小学校

【めざす児童像】

☺: 思いやりのある子 ☺: さわやか元気な子 ☺: ばっちり学ぶ子

## あけましておめでとうございます！

校長 高田 修司



謹んで新春のお喜びを申し上げます。  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。  
年末年始は充実した時間を過ごされたでしょうか。  
時間は全ての人に平等に与えられていますが、休みの期間を短く感じてしまう部分も平等のようですね。今年も頑張りましょう！

## 「やる気」について

「一年の計は元旦にあり」「竹は節から枝を出す」などと世間では言われています。

新年を迎え、節目、区切りとなり得るこの時期は、昔から何かを始めるのに絶好の機会である、と考えられています。

以前、小鯖小PTA広報紙「あまだれ」に「やる気はやらないと出ない」と掲載させていただきました。

「今週の格言」などと、シャレ？で「題」をつけたので、「来週の格言ってのもあるんですか？」とか、「やる気を出すためにやること自体、別のやる気が必要なんですよ？」などとイジられたりもしましたが、嫌々ながら草抜きをさせられていたのに、次第に本気になった、というような経験は、誰しもお持ちのことだろうと思います。



私の場合、やる気が出にくい仕事については、わざと最初のほんの少しだけをかじって（やりかけて）、途中やめで置いておく、ということをよくしています。

0を1にするにはすごくエネルギーが要りますが、1を2や3にすることは結構軽いエネルギーで済むからです。

ところで、子どもにやる気を出させようと思ったらどうしたらいいと思いますか？

ちなみに、エンジンをぶら下げて「やる気」を促す方法は、長続きしないそうです。

自分がやらないといけないと自覚し、自らやる気やモチベーションを高めていくことを「内発的動機付け」とか、「自己指導能力」と呼んでおり、私たち教職員は、子どもたちにこれらの行動様式や能力を身につけさせようと、日々努力しサポートしています。

一つだけ、簡単な方法をご紹介します。

それは、今出来ていなくても、そうなって欲しい姿を望み、子どもたちを「褒める」ことです。

「〇〇ちゃんは、思いやりがある子じゃね…！」

そう言われた〇〇ちゃんは…?? (ちょっと照れながら?)

きっと「内発的動機付け」の最初の歯車を自ら回し始めますよ！



**今週の格言：「褒める言葉は、人を動かす！」**